

科目ナンバー	PSY-1-001-sn	科目名	コミュニケーション技法			
教員名	三井 里恵	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2	
概要	<p>私たちはみな、社会の一員として日々の生活を送っています。これを換言すれば、私たちは人と人とのつながり無くしては生きていくことができない生き物である、といえるでしょう。また近年、さまざまな場面で「コミュニケーション」という言葉を目にします。現代社会の高度情報化・グローバル化にともない、コミュニケーションの重要性は、ますます高まっていくことでしょう。こうした背景から、この科目ではまず、主に心理学の視点から、私たちのコミュニケーションを支える理論について学びます。次に、学んだ理論を援用しながら、グループワークなどの演習を行い、より円滑で効果的なコミュニケーションについて学びます。このような理論と実践の往復によって、コミュニケーションについての理解を深めることを目指します。</p>					
到達目標	<p>コミュニケーション技法では、以下の4点を目標とします。(1)心理学におけるコミュニケーションの理論や方法を学び、理解すること。(2)物事を客観的・多角的視点から捉える姿勢を身につけること。(3)対人関係場面における効果的な聞き方・話し方を身につけること。(4)社会における人間関係やコミュニケーションについての理解を深めること。</p>					
「共愛12の力」との対応						
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>概要においても述べたように、本科目では講義と演習を組み合わせで学びます。講義ではパワーポイントを用いた座学形式の授業を行い、演習ではグループワークやペアワーク、ディスカッションなどのコミュニケーションワークを行います。コミュニケーションワークの内容や形式、メンバーは毎回のテーマに応じて異なります。加えて、毎回の授業終了後にリアクション・ペーパーの提出および次回の授業に向けた課題を課します。提出された意見や質問については、次回の授業にて教室でシェアしながら、コメントによるフィードバックを行います。課題の具体的な内容や形式については適宜指示します。 *履修学生の理解度や興味・関心に応じて、授業の内容や形態を変更する場合があります。</p>					
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修		
受講条件 前提科目	<p>本科目は理論と実践との往復を通して、コミュニケーションを学びます。よって、座学形式の講義のみならず、グループワーク等の演習においても、受講生の積極的な参加と協力を求めます。</p>					
アセスメントポリシー及び評価方法	<p>最終評価は平常点60%、最終レポート40%の計100%ととして、総合的に評価を行います。なお、平常点が満点であったとしても、最終レポートの提出がなされなかった場合には単位認定をすることはできません。また、提出期限までに提出されなかった最終レポートは受理しませんので、提出期限は厳守してください。</p>					
教材	適宜配布します。					
参考図書	<p>岡本真一郎 2013「言語の社会心理学」中公新書、本名信行・ベイツ・ホッフア・秋山高二・竹下裕子(編) 2005「異文化理解とコミュニケーション1ーことばと文化」三修社</p>					
内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	イントロダクション:本科目の概要について説明を行います。					
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出				時間数	1.5
2週目						
授業学修内容	自己紹介をしよう:簡単なテーマをもとに、自己紹介ワークを行います。					
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出				時間数	1.5
3週目						
授業学修内容	コミュニケーションとは何か:コミュニケーションとは具体的にどのようなことを指すのでしょうか。様々な学問的立場からコミュニケーションについて概観します。					
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出				時間数	1.5
4週目						

授業学修内容	自分を知ること:他者とのコミュニケーションにおける自己理解の重要性を学びます。さらに心理尺度を用いて自分自身がもつ心理的な傾向について考えてみましょう。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
5週目			
授業学修内容	相手を知ること:コミュニケーションにおいて他者をより理解するために注意すべき点を学び、それを踏まえてコミュニケーションワークを行います。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
6週目			
授業学修内容	認知的バイアスとコミュニケーション:人間が物事を判断しようとするときに働くメカニズムと、それがコミュニケーションに及ぼす影響について学び、コミュニケーションワークを通してその理解を深めます。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	セルフモニタリングと対人行動:コミュニケーション場面にあらわれる人間の思考や行動について心理学の知見から学びます。それを踏まえ、普段の自分の行動や考えについても振り返って考えてみましょう。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
8週目			
授業学修内容	リフレーミング:他者と関係する中でうまくいかない経験をした人は少なくないでしょう。コミュニケーションワークを通して、そうした出来事を捉えなおすための考え方を学びます。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
9週目			
授業学修内容	伝えたいことは伝わるのか?:講義とワークを通して、コミュニケーションにおいて齟齬が生じてしまう事態とその要因について考え、学びます。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
10週目			
授業学修内容	伝えたいことを伝えるには?:コミュニケーションをより円滑に行うためのポイントについて学び、その内容を踏まえてコミュニケーションワークを行います。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
11週目			
授業学修内容	質問力:「質問」の重要性について心理学研究の手法から学び、それを踏まえてコミュニケーションワークを行います。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
12週目			
授業学修内容	フォーマルコミュニケーション:時・場所・状況によって様々に変化するコミュニケーションのかたちについて学びます。その内容を踏まえて、実際の場面を想定したコミュニケーションワークを行います。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
13週目			
授業学修内容	異文化理解とコミュニケーション:グローバル化が加速するこれからの社会において異文化理解は必要不可欠です。その重要性和今後の課題について、講義と演習を交えて学びます。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
14週目			
授業学修内容	コミュニケーションとその支援:障害をテーマとして、コミュニケーションを「支援」という視点から考えます。その具体的な方法を学ぶことを通して、コミュニケーションへの理解を深めます。		
授業外学修内			

容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
15週目			
授業学修内容	まとめと今後の課題:これまで学んできたコミュニケーションの諸相について振り返り、ディスカッションを交えながら、コミュニケーションに関する今後の課題について検討します。		
授業外学修内容	授業内容の振り返りおよび最終レポートの作成	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		25	
その他に必要な自習時間		65	

Number	PSY-1-001-sn	Subject	Japanese Expression		
Name	三井 里恵 (Mitui Rie)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Everyone live as member of society. In other words, human beings are animals can't live without relationship and communication. Recently, you see the word "communication" in a various contexts. Communication will be of growing importance in globalization and informatization society. For the above reasons, this course aim to develop a holistic understanding of communication. In order to achieve that purpose, this course consist of two parts are as follows. (1) Lecture part: Learning various theories of communication from a perspective of psychology. (2) Practice part: Learning practically effective method of communication based on various theories.</p>				